



# 水産タイムス

THE SUISAN TIMES



発行所 株式会社 水産タイムズ社  
編集発行人 越川宏昭  
〒108-0014 東京都港区芝5-9-6  
TEL 03(3456)1411 FAX 03(3456)1416  
ホームページ: <http://www.suisantimes.co.jp/>  
e-mail: [suisan@suisantimes.co.jp](mailto:suisan@suisantimes.co.jp)  
日刊(但し土・日曜・祝祭日休刊)  
購読料 1ヵ月 4,800円 6ヵ月 28,800円(税別)

2011年(平成23年)  
6月21日(火) 第11133号

## 昨年の水産缶詰生産量、前年比3%減

日本缶詰協会(会長=五十嵐勇二マルハニチロホールディングス会長)は17日、2010年の国産缶・びん詰、レトルト食品の生産統計を発表した。飲料を除く丸缶の合計は25万0261t(3万5384箱)で前年比2.5%減少した。10年前と比較すると26%減少。レトルトは前年比100.4%とわずかながらも“増加”を継続。かろうじて過去最高を更新した。10年前と比較すると121%と2割以上増えている。

### カニ・サバ・イワシ増、サケ・ツナ減

昨年のは缶詰生産(丸缶の合計)は前年に比べ果実、食肉が増えたが、水産、野菜、ジャム、調理・特殊が軒並み減少。

水産は10万5797tで前年比97%。カニ、サバ、イワシ、赤貝、アサリが増加した一方、サケやツナ缶が減少した。

カニは中国、韓国からの原料搬入が増え、低価格商品が出回った結果、高い増加率を示したが、生産量そのものは平年ペース。高価格のギ

フトは依然として苦戦している。

青物関係は全体的に安定した生産。イカは原料高騰の影響で減少した。水産缶詰(丸缶)の生産量は次の通り(カッコ内は前年比)。

▽カニ3760t(152%)▽サケ3467t(98%)  
▽マグロ2万6904t(92%)▽カツオ1万2617t(88%)  
▽サバ2万8235t(102%)▽イワシ5355t(105%)  
▽サンマ1万4637t(99%)▽クジラ450t(90%)  
▽イカ2419t(86%)▽その他魚類840t(103%)  
▽カキ3t(25%)▽赤貝1862t(103%)  
▽アサリ424t(101%)▽ホタテ貝2723(91%)  
▽その他貝類141(76%)  
▽水産加工品1960t(108%)

果実缶は3万7784tで前年比104%、野菜缶は5万696tで99%、ジャム缶は494tで84%、食肉缶は7032tで106%、調理・特殊缶は4万8457tで92%。飲料は303万tで1.4%減少。

レトルトはカレーが100%と横ばい。ツナなどの水産類が107%、食肉野菜混合煮が103%と増えたが、シチュー、ハヤシ、ミートソース、マーボ豆腐の素、パスタソースが減少した。

- 春の叙勲、佐々木京都府漁連会長ら……………2
- 漁港漁場新技術研究会が総会
- 「漁港の復興こそ三陸の復興」……………2
- 日本郵船、冷凍コンテナを無償提供……………2
- 漁港の被災と復旧で緊急集会
- 優先順位をつけ集中的に復旧を……………3
- 福島県真野川のウグイなど出荷制限……………3
- 5月養魚飼料生産、タイ・ブリ用2割減………4

- 若い女性が注目、明太子の「博多うまか」…4
- 小僧寿し、“父の日フェア”好評……………4

(10383)

### 業界人物スポット

海の幸に感謝する会

会 長 しま かずお 島 一雄氏